



3年生 租税教室



先週の金曜日、3年生社会の時間に税理士の先生を講師にお招きして「租税教室」が開かれました。

▼「租税」とは「税金」のことで、『国や地方公共団体が、国民のための任務を果たすために国民から強制的に徴収するお金』のことです。

▼租税教室では、

①税金にはどのような役割があるのか？②税金は何に使われているのか？③税金はどのように集められるか？④税金の仕組みは変えられるか？の主に4つのテーマについて学びました。途中、税金に関わるクイズが出されたのでみなさんも考えてみてください。▼第1問、『公立の学校の経営は税金によって成り立っています。



では、公立中学校の生徒1人あたりに使われている税金は年間いくらでしょう？』①約42万円②約87万円③約121万円。正解は③の約121万円です。ちなみに小中高校すべてを公立の学校に通ったとすると12年間で1人あたり1,434万円の税金が使われるそうです。(平成28年、今から8年前のデータです。)

▼第2問、『日本の主な税金は何種類ぐらいあるでしょう？』①約15種類②約30種類③約50種類』正解は③の約50種類です。いくつか紹介すると、酒税・たばこ税・石油ガス税・ゴルフ場利用税・入湯税・国民健康保険税などとなります。そしてもう1つ、忘れてはならない税金(間接的にみなさんも払っている税金)が消費税です。▼授業の終わりには、この日の授業で分かってほしいことが3つ示されました。『税金は必ずどこかの誰かを幸せにしている。』『あなたもきっと誰かが納めた税金のお陰で幸せな今日を迎えている。』『みんなが出し合った大切な税金は、こんな風に使ってほしい、こういう国になってほしいと、みんなが考えを出し合うことが大切である。』

▼近い将来、納税者となる3年生にとって、大変意義のある時間となりました。



復活！交流給食



令和6年度も早いもので本日を含めて残り8日となりました。4月から、3ヶ月余りの時間が経過し、ここまで感染症が広まることもなく安定した学校生活が過ごせていることから、先週の金曜日、待望の交流給食を行いました。

▼三珠中生にとっては、ここ数年来のコロナ禍の影響で、こうして他学年と一緒に給食を食べるのは、初めての経験となります。

1学期は試運転的に、まずは2つの学年が交流するスタイルでの交流給食となりました。▼久しぶりに



復活したこの日の交流給食は、2・3年生の同じ縦割り班に所属するもの同士が1つのテーブルにつき、給食と会話を楽しみました。

▼この4月から三珠中の縦割り活動を見てきて感じるのは、1・2・3年生すべての者が驚くほど和気あいあいとしたムードの中で活動しているということです。そのような雰囲気づくりを心がけてくれている3年生を頼もしく感じます。この日の交流給食もあちらこちらに笑顔が見られる楽しい時間となりました。▼今週の金曜日12日には1・3年生による交流給食が予定されています。頼もしくて面白く、優しい先輩と一緒に交流給食に、今からわくわくしている1年生も多いのではないのでしょうか。金曜日が楽しみです。

